

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 新型コロナウイルス感染症に関する市の対応と今後について (30分)</p> <p>新型コロナウイルス感染症を巡って政府は、5月14日に全国39県の、21日には関西2府1県の緊急事態宣言を解除したものの、埼玉県は22日現在、依然として対象区域となっています。一方、新規に判明した感染者数や実効再生産数の推移を見る限り、事態はコントロールされつつある段階だと判断されます。しかし今後、感染第二波、第三波を見据えた取組が重要であることは言うまでもなく、当市においても同様です。</p> <p>コロナショックで市民は疲弊しており、市民に寄り添った対応が求められます。ここで、以下について質問します。</p> <p>(1) 感染者が市内で発生した時の対応は。 (2) 市民生活支援の取組は。 (3) 地震や台風などの災害が発生し、特に避難となった場合、従前とは異なった対応が必要となります。感染対策を踏まえた取組は。 (4) 学校の対応と今後の取組は。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 中学校校則の見直しについて (30分)</p> <p>平成29年、髪の毛が生まれつき茶色い高校生が、教員から黒く染めるよう強要され、精神的被害を受けたとして学校側(大阪府)を提訴したことが報道等で大きく取り上げられました。その後、理不尽な校則を改めて見直し、適切な運用がなされるよう周知徹底等を要望した約6万人分の署名が文部科学省に提出されるなど、社会問題となっています。</p> <p>その様な社会情勢の中、鶴ヶ島市の中学校校則を見てみると、一例として、 男子について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●短髪とする。(耳にかからない程度) ●髪は自然な状態とし、加工(パーマ・染色・脱色・ツブロック等)をしない。 ●整髪料は使用しない。 	<p>教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>●寒さによってヒートテックなどの下着を認めるが、色は白で、首元から見えないものとする。</p> <p>女子について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●肩よりのびた髪はゴムひもで縛る。 ●ゴムの色は黒・紺・茶とする。ヘアピンは黒のみで、パッチン留めはなし。 ●靴下は白で無地のものとし、くるぶしが十分に隠れる長さとする。 <p>等の細かな規則が多々あります。言うまでもなく、学校における全ての出来事は教育的意義を持ち、上記の様な画一的な校則が歴史的に一定程度の効果があったことは事実です。また、生徒の安全の確保など、より良い学校運営のための校則は必要不可欠です。一方、鶴ヶ島市では、第6次総合計画において、SDGsの理念を踏まえた多様性を尊重する社会の実現を目指しています。この様な観点から中学校校則を照らし合わせると、時代にそぐわないものも数多く存在すると考えられます。これらを踏まえ、以下、中学校の校則について伺うものです。</p> <p>(1) 上記の様な細かい規制を設けるにあたっての合理的理由は。</p> <p>(2) 教育的効果は。</p> <p>(3) 性的マイノリティへの対応は。</p> <p>(4) 生徒からの意見は。</p> <p>(5) 校則の見直しは。</p>	